

お茶会（茶道）

赤崩庵（茶室）での茶道体験を通して、礼儀やマナーを学ぶ活動です。



活動のねらい

- (1) 礼儀作法を学ぶ。
- (2) 日本の伝統文化を体験する。

活動可能人数	30人（赤崩庵：6人）	活動・季節条件	通年
所要時間	3時間	主な対象	—
実施場所	赤崩庵、第5学習室	グループの人数	6人程度
導入指導	講師	講師が参加者に直接指導	

指導上の留意点

事前に講師と入念な打合せを行ってください。※ 別途、講師料が必要

準備物

自然の家が貸し出しできるもの

茶道具一式（釜・水差し・柄杓・建水・茶碗・棗（なつめ）・茶筌・茶杓・茶巾）

利用者または団体が準備するもの

抹茶（参加者分） お茶菓子（参加者分）

売店で購入するもの・できるもの

なし

活動内容

- (1) 茶道についての話を聞く。（講師）
- (2) お茶をたててもらう。
- (3) お茶をいただく。

<例>

- ア 自分の前にお茶が運ばれてきたら、一礼し右手で茶碗をとる。
- イ 隣の人との間に茶碗を置き、「お先に」とあいさつする。
- ウ 茶碗をひざ前に置き、「お手前ちょうだいいたします。」と一礼する。
- エ 茶碗の右を持って、手のひらの上で小さく2回まわす。
- オ 両手で茶碗を安定させ、ゆっくりと3口ぐらいでお茶を飲む。
- カ 飲み終わったら、右手の親指と人差し指で、口をつけたところをぬぐう。
- キ お礼を言い、静かに茶碗をおく。

- (4) 後片付けをする。
- (5) ねらいに応じた活動ができたか、参加者に感想を発表させる。